

カラー ■ 『二仏像成り御堂に坐す』 『開山・栴庵白純大和尚十三回忌法要』

巻頭言 ● 無相の福田衣 黒田 武志

特集 ● 二仏像成り御堂に坐す 佐藤 俊明

● 二人の留学僧の得度式 東郷 敏

● 開山十三回忌を厳修・育英生辞令伝達式 小倉 玄照

● 白純大和尚さま —— 思い出を語る —— 伊藤 博

● くらしの中で読む 『正法眼蔵』 島 岩

● 激動する世界の旅 保坂 俊司

● 日常の日々(2) 浅井 宣亮

● 祈りと改宗 高橋 堯英

● ヨーロッパを訪ねて 清水 晶子

● インドの学校事情 及川 弘美

● 聖地巡礼 —— リシケイシ 太田 好信

● 神話のいきづくヤムナー河畔(その一) 井上 葉智

● イスラームの国 葉智

● 剃髪体験をして 葉智

● 第七回育英生入選論文 葉智

早川 敦、落合 隆、品田裕淳、水野克彦、曹 良淑、李 煥秀

善光寺だより 葉智

読者からのお便り 葉智

題字・さし絵 伊藤三喜庵
グラビア 駒澤 晃・五十嵐千彦
カット 『飛騨の民具』敦煌装飾図案より

151 146 121 117 113 110 106 103 98 95 89 78 71 68 64 37 22 18

無相の福田衣

今年は当寺開山棟庵曰純大和尚の十二回忌にあたりますので、二月五日、生前親交のあつた東京駒込の吉祥寺岩本昭典大方丈を導師に拝請して報恩法要を厳修し、引続き第七回海外派遣留学僧に辞令交付をおこないました。その中の一人が私の弟子となつての渡タイでしたので、三月三十一日の得度式に参列してきました。

次に不動殿本尊大日如来の脇侍仏として薬師如来・阿弥陀如来の尊像を造顕し、五月二十八日、身代り不動明王大祭の吉辰を下して入仏開眼の法要をとりおこないました。これはもつて檀信徒各位の「現世安穩 後生善処」を祈願し、寺門益々の発展興隆に資せんとするものであります。次に、韓国の三大寺院といえば、仏宝の通度寺、法宝の海印寺、僧堂の松広寺ですが、中で通度寺は唐より奉持された仏舍利を奉安する名刹で、今年、各国より袈裟を集め、これを一堂に展示し、ひろく拝観に供する催おしを開いており、日本曹洞宗の袈裟を寄贈してほしいとの要請

を受けました。

袈裟は、過去の諸仏もこれを身につけて修行し、悟りを開かれたものであり、戯れに袈裟を着けて踊つた遊女が、後に出家得度の機縁となつた故事もあり、これを身につけて修行にはげむことが解脱への道であるところから「解脱服」といわれ、また、如来の衣であるから衆生に恩恵を与える「福田衣」であるともいわれ、昔は袈裟を型取つて都が建設されたほどでありますので、袈裟の功德によつて世界平和の具現をと念願し、その要請に応じ、過般佐藤老師、東先生とともに訪韓し、「大哉解脱服 無相福田衣 披奉如来教 広度諸衆生」(大なる哉、解脱の服、無相の福田衣。如来の教えを披奉して、広くもろもろの衆生を度せん)とお唱えし奉呈して参りました。これが日韓仏教の親善友好の一助となれば望外のよろこびであります。